

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独 連携事業】

市町名	下野市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	下野市天平マラソン大会	総事業費			4,518,256	4,728,700	5,959,127	15,206,083
		うち市町支出額			666,186	615,000	431,627	1,712,813
		うち県交付金			333,093	307,500	215,813	856,406
2	下野市南河内地区一周駅伝競走大会	総事業費					698,160	698,160
		うち市町支出額					545,160	545,160
		うち県交付金					272,580	272,580
3	天平の花まつり	総事業費				20,745,256	19,970,088	40,715,344
		うち市町支出額				18,744,256	18,346,338	37,090,594
		うち県交付金				3,000,000	0	3,000,000
4	しもつけ燈桜会	総事業費				3,628,340	3,178,311	6,806,651
		うち市町支出額				3,628,340	3,178,311	6,806,651
		うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
5	東の飛鳥芋煮会	総事業費				5,801,843	4,679,600	10,481,443
		うち市町支出額				5,351,843	4,679,600	10,031,443
		うち県交付金				2,000,000	1,000,000	3,000,000
6	東の飛鳥オクトーバーフェスト	総事業費					2,403,113	2,403,113
		うち市町支出額					1,283,513	1,283,513
		うち県交付金					641,756	641,756
7	下野市産業祭	総事業費				5,591,544	6,802,921	12,394,465
		うち市町支出額				5,591,350	6,791,110	12,382,460
		うち県交付金				2,077,950	922,050	3,000,000
8	しもつけサマーフェスティバルinいしばし	総事業費					7,108,151	7,108,151
		うち市町支出額					3,500,000	3,500,000
		うち県交付金					1,750,000	1,750,000
9	サマデイ！！しもつけ	総事業費					1,019,309	1,019,309
		うち市町支出額					500,000	500,000
		うち県交付金					250,000	250,000
10	石橋まちなか賑わい祭	総事業費					2,136,706	2,136,706
		うち市町支出額					950,000	950,000
		うち県交付金					475,000	475,000
11	里庭づくりから地域の居場所へ事業	総事業費					136,675	136,675
		うち市町支出額					100,000	100,000
		うち県交付金					50,000	50,000
12	絵本の読み聞かせ事業	総事業費				67,240	252,561	319,801
		うち市町支出額				50,000	178,000	228,000
		うち県交付金				25,000	89,000	114,000
13	吉田お囃子会再興事業	総事業費			150,000	400,000	352,938	902,938
		うち市町支出額			100,000	300,000	264,000	664,000
		うち県交付金			50,000	150,000	132,000	332,000
14	サステナブルデザインプロジェクト～農業＋αの複合イベント～事業	総事業費					551,621	551,621
		うち市町支出額					300,000	300,000
		うち県交付金					150,000	150,000
15	かんびょうとふくべの魅力発信事業	総事業費				135,000	579,254	714,254
		うち市町支出額				100,000	300,000	400,000
		うち県交付金				50,000	150,000	200,000
16	しもつけちょこつとカレッジ事業	総事業費					154,480	154,480
		うち市町支出額					100,000	100,000
		うち県交付金					50,000	50,000
17	夏祭りShimotsuke～つながる未来～事業	総事業費					4,139,877	4,139,877
		うち市町支出額					100,000	100,000
		うち県交付金					50,000	50,000
18	第3回「吉田村の夏祭」事業	総事業費			415,000	775,000	1,143,395	2,333,395
		うち市町支出額			300,000	300,000	300,000	900,000
		うち県交付金			0	150,000	150,000	300,000
19	高校生もしもプロジェクト事業	総事業費			50,000	450,300	350,035	850,335
		うち市町支出額			50,000	300,000	187,000	537,000
		うち県交付金			21,088	150,000	93,500	264,588
20	茶道体験呈茶事業	総事業費					164,980	164,980
		うち市町支出額					100,000	100,000
		うち県交付金					50,000	50,000
21	ドイツ姉妹都市締結50周年記念事業グリムの森イルミネーション	総事業費					14,243,674	14,243,674
		うち市町支出額					500,000	500,000
		うち県交付金					250,000	250,000
市町計		総事業費	0	0	4,518,256	40,495,683	65,208,125	110,222,064
		うち市町支出額	0	0	666,186	33,930,789	39,355,659	73,952,634
		うち県交付金	0	0	333,093	8,885,450	8,241,699	15,820,742

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	下野市天平マラソン大会
事業主体の名称	下野市スポーツ協会
代表者の名称	下野市スポーツ協会会長 吉澤 賢一
事業主体の所在	〒329-0492 栃木県下野市笹原26(下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内)
事業主体の概要	・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。 ・設立年月日:平成18年3月26日設立 ・構成員等:20種目別競技団体加盟
当該事業に係る地域の現状と課題	文化・歴史の薫る天平の丘公園周辺をコースとした天平マラソン大会は、年々参加者は増加し、市内外から2,000名をこえる参加者がいた。新型コロナウイルスで令和2年度から令和4年度まで中止していたが、令和5年度から再開。本大会は本市の生涯スポーツの推進、選手間の交流及び本市のイメージアップやPRの場となっている。しかし、豊富な歴史的資源等があるにもかかわらず、単に大会への参加にとどまり、滞在時間や再来訪者が少ない。本大会は下野市の魅力を発信する貴重な
事業目的	・明るく健康で潤いに満ちた生活営むための要素として、生涯スポーツの振興を図る。 ・大会を通じ、役員や参加者間の交流が生まれ地域を超えた親睦の輪を広げる機会を提供する。 ・多くの人々が集うことで地域の一体感や郷土愛の醸成を図る。 ・本市の歴史、文化、特産品、自然などの資源や魅力の発信の場とし、本市への来訪者の増加を図る。
事業概要	令和6年度 関係人口の分類I-d(参加・交流型) 開催日時:令和8年1月12日(月・祝(成人の日))開催場所:天平の丘公園周辺 ①大会の開催準備 ・市スポーツ協会陸上部と大会内容の確認を行い、その後、役員の分配を決定する調整会議、担当役員の役割についての説明会等を実施した。 ・参加申込書やプログラム等を作成した。 ・ネットエントリーサービスや市のHPを活用し、宣伝を行った。 ・コースについて前回大会時の運営役員から情報を精査し、交通危険因子の排除及び大会の安全性向上を図った。 ・ふるさと納税でのエントリー受付を早期に開始し、イベント参加前の段階から関係人口創出を図った。 ②大会の開催 競技種目は6コースによる23クラスで実施した。 ・表彰は各クラスの1位～3位にメダル・賞状・副賞、4位～6位まで賞状・副賞を授与する。また、すべての完走者に記録表を交付した。 ③市のPRの実施 ・参加者へ配布するプログラム内での広告掲載、会場内特別ブースを利用した下野市のPRを実施した。 ・今年度より自治医科大学附属病院救急医療チームの救護所を設置し、PRを実施した。 【令和8年度】 令和7年度の取り組みを踏まえ、市のPRも兼ねた本市を代表するスポーツイベントになるよう取り組んでいく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標②東京圏からの新しい人の流れをつくる④安全な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】観光入込客数:R01 223万人→R07 230万人 【KPI】スポーツ活動の実施率:R02 76.1%→R07 91.0%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第18回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施	第19回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施	第20回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施		下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施
事業費	4,518,256	4,728,700	5,959,127	15,206,083	4,728,700
市町支出金 (ソフト事業分)	666,186	615,000	431,627	1,712,813	615,000
うち県交付金	333,093	307,500	215,813	856,406	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,852,070	4,113,700	5,527,500	13,493,270	4,113,700

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市天平マラソン大会	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	431,627	下野市補助金
参加料	5,412,500	参加料
協賛金	90,000	
出店料	25,000	
計	5,959,127	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	1,236,682	100,000	50,000	1,136,682	参加者記念品、メダル代等 ステージイベント謝礼
消耗品	223,903	41,627	20,813	182,276	事務用消耗品代
印刷製本費	546,700	120,000	60,000	426,700	プログラム等印刷代
委託料	3,055,114	170,000	85,000	2,885,114	計測、仮設電機、警備委託料、仮 設トイレ、バス、手話
使用料及び賃借料	300,832	0	0	300,832	仮設トイレ・AED・ガスコンロ・バイ クレンタル借り上げ料
食糧費	383,576	0	0	383,576	役員弁当代等
保険料	212,320	0	0	212,320	参加者傷害保険
				0	
				0	
				0	
計	5,959,127	431,627	215,813	5,527,500	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	下野市南河内地区一周駅伝競走大会
事業主体の名称	下野市スポーツ協会
代表者の名称	下野市スポーツ協会会長 吉澤 賢一
事業主体の所在	〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地(下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内)
事業主体の概要	・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに務めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。 ・設立年月日:平成18年3月26日設立 ・構成員等:20種目別競技団体加盟
当該事業に係る地域の現状と課題	南河内地区の歴史、文化の薫り高く自然豊かな田園地帯をコースとした南河内地区一周駅伝競走大会は、毎回約30チームが参加し、生涯スポーツの推進、選手間の交流及び本市のイメージアップ・PRの場となっている。本市は都内へのアクセスの起点となる小金井駅や自治医科大学などをはじめとした多くの方が働く場所がある一方、田園地域も広がっており、多様な属性の住民を抱える地域である。普段交流のない業種の人や多世代間の交流の場が少ないため、大会を通して地域内でのつながりを生み出し、スポーツを通じた地域活性化を図る。
事業目的	明るく健康で潤いに満ちた生活を営むための要素として、生涯スポーツの振興を図る。 大会を通じ、役員や参加者間の交流が生まれ、地域を超えた親睦の輪を広げる機会を提供する。 多くの人々が集うことで、地域の一体感や郷土愛の醸成を図る。 本市の歴史、文化、特産品、自然などの資源や魅力の発信の場とし、本市への来訪者の増加を図る。
事業概要	令和7年度 関係人口の分類 I-d(参加交流型) 開催日:令和7年12月14日(日) 開催場所:下野市南河内地区 ①大会開催の準備 ・大会内容の確認や役員の配置を市スポーツ協会陸上部と調整を行った。 ・参加申込書、プログラムを作成し、市内体育施設での周知と併せて、近隣市町へ周知の依頼を行った。 ・入賞チームトロフィー、参加賞を用意した。 ・市のPRのため、特産品のかんぴょうを使ったかんぴょう汁の無料配布を企画し、材料の用意、下準備を行った。 大会開催に向け上記の準備を進めていたが、当日の荒天により中止となってしまった。 参加申込チームへ、大会中止のお詫び及び次回大会参加の案内と大会参加賞を送付した。 【令和8年度】 令和7年度の大会は中止となってしまったが、これまで開催されてきた歴史や伝統を踏まえつつ、市のPRを兼ねた本市を代表するスポーツイベントになるよう取り組んでいく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標②東京圏からの新しい人の流れをつくる ④安全な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】観光入込客数:R01 223万人→R07 230万人 【KPI】スポーツ活動の実施率:R02 76.1%→R07 91.0%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和7年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第20回下野市南河内地区一周駅伝大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施				下野市南河内地区一周駅伝大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施
事業費	698,160			698,160	888,000
市町支出金 (ソフト事業分)	545,160			545,160	742,000
うち県交付金	273,500			273,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	153,000			153,000	146,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市南河内地区一周駅伝競走大会	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	545,160	下野市補助金
参加料	153,000	参加料
計	698,160	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	221,512	187,000	93,500	34,512	参加者記念品、トロフィー、メダル代等
消耗品費	168,526	79,160	39,580	89,366	事務用消耗品
委託料	124,800	124,000	62,000	800	計測、警備員派遣等
使用料及び賃借料	142,000	134,000	67,000	8,000	仮設トイレレンタル等
食糧費	15,763	0	0	15,763	役員弁当代等
保険料	25,559	21,000	10,500	4,559	参加者傷害保険
				0	
				0	
				0	
				0	
計	698,160	545,160	272,580	153,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	天平の花まつり
事業主体の名称	一般社団法人 下野市観光協会
代表者の名称	一般社団法人 下野市観光協会 会長 坂村哲也
事業主体の所在	下野市小金井3009-12 オアシスポップ館内
事業主体の概要	・団体の目的:下野市における観光事業の健全なる発展を図り、地域経済の振興、郷土文化の発展に努め、公共の福祉の向上に寄与する ・設立年月日:平成25年6月27日 ・構成員等:当法人の目的に賛同する個人または団体
当該事業に係る地域の現状と課題	国指定史跡下野国分尼寺跡及び隣接する平地林を含む天平の丘公園で開催される桜のまつりであり、花広場を中心に日本三大桜(神代桜、根尾谷の淡墨桜、三春の滝桜)の子孫樹をはじめ数種類の桜が順次咲き揃い、3月下旬から5月上旬まで開催される。本市の課題として、観光資源が少ないという現状がある。地域資源を有効に活用し、地域住民の郷土愛醸成及び関係人口の増加を図っていくことが課題となっている。
事業目的	市民が花を楽しみながら交流を図り、地域の魅力を再認識して郷土愛を育むとともに、重要な観光資源として関係人口の増加を図る。
事業概要	・観光協会のHPや市のHP、広報、FMゆうがやや定例記者会見での周知などで積極的に誘客を図っている。 ・SNSを活用し、市内外への周知を図り集客に努める。 ・会場にある、国分寺・国分尼寺などの本市の歴史文化を併せて周知し、郷土愛醸成を図る。 (市支出金の対象事業期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) 【令和7年度】 第46回天平の花まつり 令和7年3月20日～5月6日【関係人口の分類Ⅰ-d(参加・交流型)】 ①淡墨桜期間 3月20日～3月31日 10:00～16:30 ②花しらべ期間 4月1日～4月9日 10:00～17:30 ③花まつり本番期間 4月10日～4月26日 10:00～17:30(4月12日～20日 10:00～20:30) ④ゴールデンウィーク期間 4月27日～5月6日 10:00～17:30 ⑤令和8年3月開催に向けた準備 【令和8年度以降】 第47回の花まつりについて、令和8年3月20日～実施予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第45回天平の花まつり ①市内商店等の出店(花まつり 出店協力会) ②坊ちゃん列車、ミニ新幹線の 運行 ③野外ステージイベント(歌謡 ショー、ヒーローショー、文化協 会、市内学校、カラオケ等) ④天平の丘公園 ⑤野点、ミニ新幹線の運行、子ど も遊び広場 等 ⑥チラシ、ポスター等による宣 伝、周知活動	第46回天平の花まつり ①市内商店等の出店(花まつり 出店協力会) ②坊ちゃん列車、ミニ新幹線の 運行 ③野外ステージイベント(歌謡 ショー、ヒーローショー、文化協 会、市内学校発表等) ④天平の丘公園 ⑤野点、ミニ新幹線の運行、子ど も遊び広場 等 ⑥チラシ、ポスター等による宣 伝、周知活動			第47回天平の花まつり ①市内商店等の出店(花まつり 出店協力会) ②坊ちゃん列車、ミニ新幹線の 運行 ③野外ステージイベント(歌謡 ショー、ヒーローショー、文化協 会、市内学校発表等) ④天平の丘公園 ⑤野点、ミニ新幹線の運行、子ど も遊び広場 等 ⑥チラシ、ポスター等による宣 伝、周知活動
事業費	20,745,256	19,970,088		40,715,344	30,882,000
市町支出金 (ソフト事業分)	18,774,256	18,346,338		37,120,594	28,881,000
うち県交付金	3,000,000	0		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,971,000	1,623,750	0	3,594,750	2,001,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	天平の花まつり	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	18,346,338	
坊ちゃん列車収入	1,623,750	
計	19,970,088	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報酬	0	0		0	
食糧費	36,800	36,800		0	
報償費	160,000	160,000		0	
印刷製本費	0	0		0	
消耗品費	74,133	74,133		0	
通信運搬費	1,980	1,980		0	
委託料	12,432,554	10,808,804		1,623,750	
使用料	0	0		0	
工事請負費	3,640,450	3,640,450		0	
燃料費	0	0		0	
借上料	3,579,620	3,579,620		0	
保険料	0	0		0	
手数料	44,551	44,551		0	
計	19,970,088	18,346,338	0	1,623,750	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号ー5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	しもつけ燈桜会
事業主体の名称	一般社団法人 下野市観光協会
代表者の名称	一般社団法人 下野市観光協会 会長 坂村哲也
事業主体の所在	下野市小金井3009-12 オアシスポップ館内
事業主体の概要	・団体の目的:下野市における観光事業の健全なる発展を図り、地域経済の振興、郷土文化の発展に努め、公共の福祉の向上に寄与する ・設立年月日:平成25年6月27日 ・構成員等:当法人の目的に賛同する個人または団体
当該事業に係る地域の現状と課題	国指定史跡下野国分尼寺跡及び隣接する平地林を含む天平の丘公園で開催される燈桜会を開催。歴史を感じられる夏の風物詩として第7回目を迎え、市内外から多くの来場者が見込めるイベントである。 本市の課題として、観光資源が少ないという現状がある。地域資源を活用し、住民の郷土愛醸成及び関係人口の増加を図っていくことが課題となる。
事業目的	本市の重要な観光資源の一つとして定着させ、市内外から多くの来場者を呼びこみ、市への観光客数増加を図る。 市内外からボランティアを募り、関係人口の増加に寄与する。
事業概要	約1,300年前の国分寺で人々の幸せを祈り行われていたとされる法会(ほうえ)を現代風にアレンジしたもので、本市が誇る天平の丘公園の桜にちなんで名付けられた。ろうそくの入ったカップ型の燈籠 約6,000個を会場内に並べ、幻想的な明かりで照らす。参加型のイベントとして満足感・達成感を感じていただき、郷土愛の醸成と市外からも繰り返し足を運んでもらうきっかけにしたい。 【令和7年度】 第7回しもつけ燈桜会 令和7年7月19日(土)【関係人口の分類Ⅰ-d(参加・交流型)】 天平の丘公園にて、ろうそくの入ったカップ型の燈籠 約6,000個を会場内に並べ、幻想的な明かりで照らした。 ・市内事業者の出店により、地域経済の活性化を図った。 ・市内外より運営ボランティアを募集し、関係人口の増加や地域住民との交流を図った。 ・観光協会のHPや市のHP、広報の周知などで積極的に誘客を図った。また、SNSを活用し、市内外へ向けて広く発信した。 ・イベント終了後のカップの洗浄を障害者就労支援施設に依頼し、障がい者の工資増加に寄与した。 【令和8年度以降】 第8回のしもつけ燈桜会についても継続を検討する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					(単位:円)
	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第6回しもつけ燈桜会 ろうそくの入ったカップ 型の燈籠 約6,000 個を会場内に並べ、幻 想的な明かりで照らす	第7回しもつけ燈桜会 ろうそくの入ったカップ 型の燈籠 約6,000 個を会場内に並べ、幻 想的な明かりで照らす			第8回しもつけ燈桜会 ろうそくの入ったカップ 型の燈籠 約6,000 個を会場内に並べ、幻 想的な明かりで照らす
事業費	3,628,340	3,178,311		6,806,651	3,565,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,628,340	3,178,311		6,806,651	3,565,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけ燈桜会	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	3,178,311	
計	3,178,311	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	373,783	373,783	150,000	0	瓢細工展示謝金、作業時飲み物
印刷製本費	84,360	84,360	40,000	0	チラシ、ポスター
消耗品費	791,917	791,917	390,000	0	ロウソク、ライター
通信運搬費	49,500	49,500	20,000	0	ロウソク送料
委託料	966,217	966,217	480,000	0	観覧台設置・撤去、警備
工事請負費	396,000	396,000	190,000	0	電灯・飲食スペース設置
使用料及び賃借料	475,420	475,420	230,000	0	本部、飲食スペース用テント・イス
保険料	33,919	33,919		0	
手数料	7,195	7,195		0	
				0	
計	3,178,311	3,178,311	1,500,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	東の飛鳥芋煮会
事業主体の名称	一般社団法人 下野市観光協会
代表者の名称	一般社団法人 下野市観光協会 会長 坂村哲也
事業主体の所在	下野市小金井3009-12 オアシスポップ館内
事業主体の概要	・団体の目的:下野市における観光事業の健全なる発展を図り、地域経済の振興、郷土文化の発展に努め、公共の福祉の向上に寄与する ・設立年月日:平成25年6月27日 ・構成員等:当法人の目的に賛同する個人または団体
当該事業に係る地域の現状と課題	国指定史跡下野国分尼寺跡及び隣接する平地林を含む天平の丘公園で開催される芋煮会が復活して2年目の開催。本市の課題として、観光資源が少ないという現状がある。地域資源を活用し、住民の郷土愛醸成及び関係人口の増加を図っていくことが課題となる。
事業目的	市民が秋の実りで作られた大鍋を食しながら交流を図り、地域の魅力を再認識して郷土愛を育むとともに、重要な観光資源として交流人口の増加を図る。
事業概要	【令和7年度】 第28回天平の芋煮会 令和7年11月2日(日)【関係人口の分類Ⅰ-d(参加・交流型)】 天平の丘公園にて、特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わった。 ・市内事業者の出店により、地域経済の活性化を図った。 ・市内団体等より運営ボランティアを募集し、地域団体が一体となりイベントを盛り上げると共に、地域住民との交流を図った。 ・特産品のかんぴょうを入れた芋煮鍋をつくり、特産品の周知を図った。 ・観光協会のHPや市のHP、広報の周知などで積極的に誘客を図った。また、SNSを活用し、市内外へ向けて広く発信した。 【令和8年度以降】 第29回の芋煮会についても継続を検討する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第27回天平の芋煮会 特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わう。	第28回天平の芋煮会 特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わう。			第29回天平の芋煮会 特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わう。
事業費	5,801,843	9,025,000		14,826,843	9,025,000
市町支出金 (ソフト事業分)	5,351,843	8,575,000		13,926,843	8,575,000
うち県交付金	2,000,000	1,000,000		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	450,000	450,000	0	900,000	450,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	東の飛鳥芋煮会	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	4,679,600	
計	4,679,600	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	30,584	30,584	10,000	0	開会式MC謝礼
印刷製本費	197,670	197,670	90,000	0	ポスター、チラシ、芋煮券
消耗品費	402,994	402,994		0	
通信運搬費	43,520	43,520		0	
委託料	1,371,066	1,371,066		0	芋煮調理、運搬
工事請負費	132,000	132,000		0	
備品購入費	0	0		0	
使用料及び賃借料	2,391,862	2,391,862	900,000	0	配膳所、飲食用等テント借上げ
保険料	26,074	26,074		0	
手数料	83,830	83,830		0	
計	4,679,600	4,679,600	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	下野市・ディーツヘルツタール姉妹都市締結50周年記念事業 東の飛鳥オクトーバーフェスト
事業主体の名称	東の飛鳥オクトーバーフェスト実行委員会
代表者の名称	実行委員長 五月女 治
事業主体の所在	下野市笹原26番地(事務局:下野市総合政策部市民協働推進課)
事業主体の概要	・団体の目的:ドイツ姉妹都市締結50周年の節目の年を市をあげて祝うため、イベントを通して機運を高める ・設立年月日:令和7年6月10日 ・構成員等:市に関係するフェスト実施に必要な団体から推薦された15名以内の委員
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 下野市とドイツのディーツヘルツタール市は今年で姉妹都市締結50周年を迎えるが、中学生の相互交流派遣事業も3年に1度であり、市民の認知度はまだまだ低いことから、節目の年に市役所前ひろばで50周年記念イベントを開催することは、市民への啓発のほか、市自治基本条例に定める多文化共生社会・国際交流活動推進の取組みにおいても有効である。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 姉妹都市締結50周年にあわせ、シティプロモーションとして、東の飛鳥と銘打ちドイツビール祭りを開催することで、飛鳥時代からの重要な遺跡があり自然災害の少ない暮らしやすい市の歴史的特性をPRするとともに、姉妹都市交流の強化、市民の国際意識向上、市全体の一体感を図る。
事業概要	当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載、 集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類を記載 東の飛鳥オクトーバーフェスト～しもつけビール祭り～【関係人口の分類 I ーd(参加・交流型)】 【令和7年度】 ・開催日:令和7年9月28日(日) ・ビールを飲む人も飲まない人も、みなで楽しめるイベントとし、今回の開催を皮切りに当イベントが栃木県でのクラフトビールイベントの聖地となるよう成長戦略運営に取り組んだ。 ・タウン情報サイト「栃ナビ!」やケーブルテレビにて、イベントの情報発信を行ったほか、JR自治医大駅・小金井駅に設置している掲示板へのポスター掲示により、市内のみならず市外からの集客に努めた。 【令和8年度】 ・前年度開催内容を検証のうえ、改善すべき点があれば対応しながら、継続して開催していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和7年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	オクトーバーフェストの 開催				オクトーバーフェストの開催
事業費	2,403,113			2,403,113	2,186,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,283,513			1,283,513	1,500,000
うち県交付金	641,756			641,756	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,119,600	0	0	1,119,600	686,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市・ディーツヘルツタール姉妹都市締結50周年記念事業 東の飛鳥オクトーバーフェスト	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,283,513	
出店料	144,000	
雑収入	100,000	
協賛金	590,000	
販売収入	285,600	
計	2,403,113	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	74,800			74,800	チラシ、ポスター印刷
委託料	1,980,858	1,283,513	641,756	697,345	会場設営、音響設営、看板作成、 清掃、ごみ回収、会場照明
報償費	59,880			59,880	出演者報酬
食糧費	229,842			229,842	飲み物・昼食代、ドイツビール仕入 れ費
保険料	20,812			20,812	
手数料	5,500			5,500	
雑費	31,421			31,421	
				0	
				0	
				0	
計	2,403,113	1,283,513	641,756	1,119,600	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	下野市産業祭
事業主体の名称	下野市産業祭実行委員会
代表者の名称	下野市産業祭実行委員会 会長 伊澤 仁一
事業主体の所在	下野市笹原26番地 下野市産業振興部商工観光課内
事業主体の概要	・団体の目的:産業祭を円滑に開催することにより、市民の産業への関心を喚起し、本市における産業を通じた市民、観光客その他の交流及び発展に寄与する ・設立年月日:ふれあいプラザ実行委員会(平成23年9月1日設立)、下野市産業祭実行委員会へ名称変更(平成25年8月12日)
当該事業に係る地域の現状と課題	従来「ふれあいプラザ」として旧石橋町の商工会により実施していたイベントを、下野市全体の産業振興のためのイベントとして実施している。コロナにより開催が見送られていたが、R5年度に第12回を数年振りに開催、63団体が出展、約5000人が来場した。本市においては、地域産業全般のPRによる市内産業の認知度向上や、下野ブランドとして認定した特産品や文化財等の地域資源のブランドイメージの定着を図り、広くプロモーション展開を図っていく必要がある。
事業目的	産業祭を通じ、市民の市内産業への関心を喚起し、産業を通じた市民、観光客等の交流を促進するとともに、下野ブランドに認定された特産品等をはじめ、本市の優れた魅力や観光等を市内外へPRし、産業及び地域活性化を図る。
事業概要	【令和7年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】 ・開催日:令和7年11月16日(日) ・会場:大松山運動公園 ・内容 商工業者の出展:商工会員を中心に自社製品や取扱商品等のPR・展示・販売 各工業団地による出展:各企業の製品・商品の展示・販売やパネル等による製造工程説明 食と農の情報発信:市内で生産されるかんぴょうなどの特産品を陳列・販売 公共性のある団体による出展等:観光協会や各種団体によるポスター等の展示 令和6年度より新たにキッチンカーによる出展を追加。新規出展者の増とともに来場者の増を目指す 【令和8年度以降】 前年度開催内容を検証のうえ、改善すべき点があれば対応しながら、継続して開催していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合:R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合:R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	R6年度	R7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第13回下野市産業祭開催 ・実行員会の開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR	第14回下野市産業祭開催 ・実行員会の開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR			下野市産業祭開催 ・実行員会の開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR
事業費	5,591,544	6,802,921		12,394,465	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	5,591,350	6,791,110		12,382,460	6,000,000
うち県交付金	2,077,950	922,050		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	194	11,811	0	12,005	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市産業祭	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	6,791,110	市補助金
雑収入	11,811	利子
計	6,802,921	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	30,000	30,000			ステージ謝礼
消耗品費	34,433	34,433			消耗品
食糧費	13,640	1,829		11,811	出演者昼食・飲み物代
手数料	7,150	7,150			振込手数料
保険料	19,630	19,630			保険料
委託料	5,238,368	5,238,368	922,050		広告委託122,320円、テント設営4,235,000円、音響設営148,000円、看板設置218,790円、駐車場警備237,600円、ふわふわ設置・会場内清掃36,898円、会場ゴミ処理27,260円、ステージ委託212,500円
工事請負費	1,459,700	1,459,700			電気仮設工事
				0	
				0	
計	6,802,921	6,791,110	922,050	11,811	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	しもつけサマーフェスティバルinいしばし
事業主体の名称	しもつけサマーフェスティバルinいしばし実行委員会
代表者の名称	実行委員長 吉田 宗司
事業主体の所在	下野市石橋790-17(事務局:石橋商工会内)
事業主体の概要	・団体の目的:石橋地域での新たなイベントとして花火大会を開催することにより、改めて自分たちの地域への思いを深め、世代を超えたふれあいから生まれる「絆」を大切に、夏の風物詩として未来へつないでいく。 ・設立年月日:いしばし納涼踊り花火大会開催事業(昭和48年)、しもつけサマーフェスティバルinいしばし開催事業へ名称変更(令和5年) ・構成員等:石橋商工会、下野市
当該事業に係る地域の現状と課題	石橋地区は、JR石橋駅を中心とした昔からの商店街や住宅地があるが、高齢化の進展とともに閉店する商店が増え、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。 その一方で、地域の祭りとして昭和48年から続くいしばし納涼踊り花火大会改めしもつけサマーフェスティバルinいしばしは、地域住民の交流を促進し、業種を超えた交流や情報交換の場として機能するほか、新興住宅地と従来の住宅地の新旧住民や世代を超えた人々の交流の場としても重要な役割を担うなど、空洞化が進む街においても、地域コミュニティを維持することに貢献している。また、下野市を代表するイベントの1つとして市内外より多くの人が訪れる行事となっている。しかし、イベントの中心となって活動してきた商工業者も高齢化が進み、後継者不足により廃業となるなど、将来的なイベントの担い手不足が懸念されている。地域住民の交流を促し、絆を深めてきたイベントの衰退は、地域の活力低下やさらなる若者の流出につながりかねない。石橋地区への訪問者を増やし、地域の良さを知り将来的に住み続けたい街として実感してもらうかが課題となっている。
事業目的	・地域に根ざした商工業を育成する。 ・住みたい地区として、移住定住候補地になる。 ・子どもの郷土愛を醸成し、将来的なUターン、定住意識を育てる。
事業概要	【令和7年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】 ・開催日:令和7年8月2日(土) ・会場:きらら館多目的広場 ・内容:下野市民を中心としたグループによるステージイベント 商工会員による模擬店及びキッチンカー出店(10店前後) 花火打ち上げ ・周知方法:駅へポスターを掲示し、市内外の利用者に向けて周知を図った。 【令和8年度以降】 R7年度の実施状況を踏まえて、内容を検討していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】②東京圏からの新しい人の流れをつくる 【数値目標】観光入込客数:R01 223万人→R07 230万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	R7年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	下野市民を中心としたグループによるステージイベント 商工会員による模擬店及びキッチンカー出店(10店前後) 花火打ち上げ				下野市民を中心としたグループによるステージイベント 商工会員による模擬店及びキッチンカー出店(10店前後) 花火打ち上げ
事業費	7,108,151			7,108,151	7,100,000
市町支出金(ソフト事業分)	3,500,000			3,500,000	3,500,000
うち県交付金	1,750,000			1,750,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,608,151	0	0	3,608,151	3,600,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけサマーフェスティバルinいしばし	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	3,500,000	
助成金	105,916	自主財源
広告料	3,231,000	協賛広告料
雑収入	271,235	祝金、出店料
計	7,108,151	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	499,899	280,000	140,000	219,899	記念品、関係団体謝礼等
印刷製本費	319,913	160,000	80,000	159,913	ポスター印刷物
委託費	5,613,880	2,800,000	1,400,000	2,813,880	花火、電気工事費、会場設営費、 会場補償費、交通警備員代
消耗品費	520,979	260,000	130,000	260,979	消耗機材等、その他備品
食糧費	113,280	0	0	113,280	弁当・飲み物代
保険料	40,200	0	0	40,200	保険料
計	7,108,151	3,500,000	1,750,000	3,608,151	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	サマデイ！！しもつけ
事業主体の名称	サマデイ！！しもつけ実行委員会
代表者の名称	委員長 吉田 剛
事業主体の所在	下野市石橋790-17(事務局:石橋商工会内)
事業主体の概要	・団体の目的:石橋地域でのステージイベントを開催することにより、改めて自分たちの地域への思いを深め、世代を超えたふれあいから生まれる「絆」を大切に、夏の風物詩として未来へつないでいく。 ・設立年月日:イブニングライズ開催事業(平成元年設立)、しもつけお笑いグランプリ開催事業(平成26年)、サマデイ！！しもつけ開催事業へ名称変更(令和5年) ・構成員等:石橋商工会青年部
当該事業に係る地域の現状と課題	石橋地区は、JR石橋駅を中心とした昔からの商店街や住宅地があるが、高齢化の進展とともに閉店する商店が増え、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。 商工会等が中心となって様々な活性化の取組を行っているが、各取組は模索・実行段階にあり、まだ明確な成果が出ていない。そこで平成元年、商工会の後継者が集まり、若手のアイディアで活性化に貢献することを目的に、イブニングライズ開催事業を設立し、ステージ中心のイベントを開催してきたが、事業がマンネリ化し、来場者が減少してきたことに伴い事業規模も縮小していた。そのため、平成26年に事業のあり方を見直し、しもつけお笑いグランプリ開催事業に名称変更するとともに、下野市の特産品を活かした「ご当地グルメ選手権」を開催したところ、来場者が増加した。現在、青年部員数の減少や予算の制約等により、しもつけサマーフェスティバルinいしばしと同時期に開催となるサマデイ！！しもつけ開催事業の認知度は高くはないが、石橋地区への訪問者を増やし、地域の良さを知り将来的に住み続けたい街として実感してもらうかが課題となっている。笑いやエンターテインメントを通じて、年齢や立場を超えて人が集まりやすくし、新たな人の流れを生み出すとともに、地域への愛着を醸成する機会にもしたい。
事業目的	・石橋地区の商工業を活性化させる。 ・商工会の後継者を増やす。 ・下野ブランドの魅力を市民が再確認し、誇れる街とする。 ・下野市を訪れるきっかけをつくり、地域の良さを知ってもらい将来的な移住・定住候補地として考えてもらう。
事業概要	【令和7年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】 ・開催日:令和7年8月2日(土) ・会場:きらら館多目的広場 特設ステージ ・内容:お笑い芸人等によるステージイベント 本市に関する話題含めたパフォーマンスを依頼し、市民や市外から訪れた方が市の魅力を再発見する機会とした。 ・参加型抽選会 【令和8年度以降】 令和7年度の実績を踏まえ、継続していく予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合:R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合:R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					
(単位:円)					
	R7年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	お笑い芸人等によるステージイベント 参加型抽選会				お笑い芸人等によるステージイベント 参加型抽選会
事業費	1,019,309			1,019,309	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000	500,000
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	519,309	0	0	519,309	500,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	サマデイ！！しもつけ	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	市500,000円、商工会100,000円
助成金	149,211	石橋商工会青年部より
広告料	270,000	協賛広告料
雑収入	98	決算利息
計	1,019,309	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	80,652	40,000	20,000	40,652	ポスター印刷物
報償費	818,399	400,000	200,000	418,399	企画賞品代、ステージ出演報酬
委託料	26,780	13,270	6,635	13,510	会場設営費、ステージ演出、音響 設備設置
消耗品費	93,478	46,730	23,365	46,748	事務用品
計	1,019,309	500,000	250,000	519,309	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	石橋まちなか賑わい祭
事業主体の名称	石橋まちなか賑わい祭実行委員会
代表者の名称	委員長 吉田 宗司
事業主体の所在	下野市石橋790-17(事務局:石橋商工会内)
事業主体の概要	・団体の目的:地域おこしの一環として、「現代版朝市」をまちなかで開催することにより、石橋の中心市街地に賑わいを呼び戻し、消費者、生産者及び販売者が交流し、賑わいのあるまちにする。 ・設立年月日:昭和35年9月16日 ・構成員等:石橋商工会、下野市、下野市観光協会
当該事業に係る地域の現状と課題	石橋駅前商店街は、かつての宿場町で、馬市がおかれ、戦後も家畜市場やかんぴょう問屋のある賑やかな商店街であったが、高齢化やモータリゼーションに伴い、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。また、昭和35年から、住民の交流の場や各店舗の商品PRの場として賑わい祭りが開催されてきたが、後継者不足などから出展者の減少傾向が続いていた。商店街の活性化に寄与してきた賑わい祭りの衰退は、商店街、さらには石橋地域の商工業の衰退につながりかねないと、平成27年には、商店街に代わり商工会が主体となって、商店街のみでなく広く石橋地域の商工業者に参加を呼びかけ、9月に賑わい祭り、10月に駅前の商店を中心とした軽トラ市を開催したところ、約2,000名の来場があるなど、それまでを上回る賑わいを見せた。しかし、出展者の減少という問題は解決していないことから、いかにしてこれらの問題を解消しつつ、商工会の後継者を確保して駅前商店街の賑わいを創出していくかが課題となっている。
事業目的	・駅前商店街の賑わい活性化を図る。 ・商工会の後継者を増やす。 ・消費者、生産者、販売者の交流を促す。 ・石橋駅前商店街を訪れ、地域の良さを知ってもらい、将来的に移住・定住、商工会員に加入してもらう。
事業概要	【令和7年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】 ・開催日:令和7年10月19日(日) ・会場:石橋にぎわい広場 ・内容:農産物、加工品、商工業用品のマルシェ、ローカルフードやハンドメイド作品等の販売 地域の方との交流を主としたワークショップ 親子で楽しめる来場者参加型の催し 下野市民によるグループステージイベント 【令和8年度以降】 令和7年度の実績を踏まえ、継続していく予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】②東京圏からの新しい人の流れをつくる 【数値目標】観光入込客数:R01 223万人→R07 230万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	R7年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	農産物、加工品、商工業用品のマルシェ、ローカルフードやハンドメイド作品等の販売 地域の方との交流を主としたワークショップ 親子で楽しめる来場者参加型の催し 下野市民によるグループステージイベント				農産物、加工品、商工業用品のマルシェ、ローカルフードやハンドメイド作品等の販売 地域の方との交流を主としたワークショップ 親子で楽しめる来場者参加型の催し 下野市民によるグループステージイベント
事業費	2,136,706			2,136,706	2,050,000
市町支出金 (ソフト事業分)	950,000			950,000	950,000
うち県交付金	475,000			475,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,186,706	0	0	1,186,706	1,100,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	石橋まちなか賑わい祭	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
協賛金	665,000	1口3,000円×221件
出店料	70,000	1口5,000円×14件
市補助金	950,000	
事業費より支出	95,950	自主財源
雑収入	355,756	祝金、お楽しみ券売上
計	2,136,706	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	576,578	250,000	125,000	326,578	司会・音響依頼謝礼、企画景品
委託費	1,026,300	500,000	250,000	526,300	ステージ設営費、運営費、警備等
印刷製本費	129,096	60,000	30,000	69,096	ポスター・チラシ作成費
広報費	24,552	20,000	10,000	4,552	新聞折込手数料
食糧費	25,900	0	0	25,900	参加者弁当
職員手当	16,000	0	0	16,000	役員日当
保険料	56,510	20,000	10,000	36,510	イベント保険
消耗品費	281,770	100,000	50,000	181,770	イベント消耗品
計	2,136,706	950,000	475,000	1,186,706	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	里庭づくりから地域の居場所へ事業
事業主体の名称	朝(あした)の会
代表者の名称	諏訪 守
事業主体の所在	下野市柴90-1
事業主体の概要	・団体の目的:里庭づくり等の誰もが参加できる機会を通じて、近隣に住む多世代のつながりを形成する。 ・設立年月日:令和7年1月18日 ・構成員等:趣旨に賛同する個人6名
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 地域住民の高齢化が進み、高齢者の単身世帯も増加している現状がある。また、地域のコミュニティ行事等も減少傾向にあり、住民同士の繋がりの場を確保することが課題となっている。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 里庭づくりを通じて地域のサードプレイスを形成する。
事業概要	当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載、 集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類を記載 【令和7年度】 <実施時期>令和7年4月～令和8年3月 ・毎月のサツマイモの栽培管理(各回10名程度参加) ・11/8(土)サツマイモの収穫祭(未就学児～小学生の親子中心、28名参加) ・8/26(火)、12/7(日)草木染イベント実施(参加者各20名程度) 【令和8年度以降】 事業内容を修正しながら、永続的に事業を実施する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和7年度	令和 年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・毎月のサツマイモの栽培管理 ・11/8(土)サツマイモの収穫祭 ・8/26(火)、12/7(日)草木染イベント実施				・季節に合わせた作物の栽培・収穫 ・ビオトープ作りに向けた会議の実施 ・工作、腐葉土作り、みそ作り等の体験イベントの実施
事業費	136,675			136,675	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000			100,000	75,000
うち県交付金	50,000			50,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	36,675	0	0	36,675	75,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	里庭づくりから地域の居場所へ事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	100,000	
寄付金等	36,675	東方台地コミュニティ推進協議会より
計	136,675	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	75,375	75,000	37,500	375	土、肥料、作物苗購入
通信・運搬費	3,480	3,000	1,500	480	はがき代
保険料	4,250	4,000	2,000	250	ボランティア保険
備品購入費	53,570	18,000	9,000	35,570	スコップ・鍬等
計	136,675	100,000	50,000	36,675	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	絵本の読み聞かせ事業
事業主体の名称	おはなしさんぽ
代表者の名称	増渕 晴美
事業主体の所在	下野市柴769番地55
事業主体の概要	・団体の目的:子育て中の父母が、子どもたちを遊ばせながら交流する中で、育児の悩みを共有できるような居場所づくりを行う。 ・設立年月日:令和6(2024)年4月23日 ・構成員等:会の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	子育て世帯の核家族化、三世代同居世帯の減少が進み、家庭での保育力の低下が懸念されるとともに、子育て中の父母の孤立感・孤独感による精神面での負担が懸念される。
事業目的	・絵本の読み聞かせを中心に、子供とその親を対象とした様々なイベントを行う。 ・イベントの場に親が集まることにより、様々な悩みを共有したり、団体構成員(子育てを終えた世代)が相談に乗るなど親同士のコミュニティを創出する。
事業概要	【令和7年度】 ＜実施時期＞令和7年4月～令和8年3月 ・毎月1回絵本の読み聞かせを実施 ・上記に併せて9月ミニ運動会、11月お楽しみ会、12月音楽会、2月音楽会等のイベントを実施 ・地域の親子を中心に、各回10～50名程度参加者あり 【令和8年度以降】 事業内容を修正しながら、継続的にイベントに取り組んでいく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標: 幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和6年度	令和7年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	絵本の読み聞かせイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ	・毎月1回絵本の読み聞かせを実施 ・上記に併せて9月ミニ運動会、11月お楽しみ会、12月音楽会、2月音楽会等のイベントを実施			絵本の読み聞かせイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ
事業費	67,240	252,561		319,801	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	50,000	178,000		228,000	100,000
うち県交付金	25,000	89,000		114,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	17,240	74,561	0	91,801	100,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	絵本の読み聞かせ事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	178,000	
寄付金等	74,561	東方台地コミュニティ推進協議会
計	252,561	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	142,000	124,000	62,000	18,000	読み聞かせ支援者謝礼 (外部)
消耗品費	24,202	24,000	12,000	202	コピー用紙・PCインク
食材料費	4,758	0	0	4,758	事業支援者用お茶
印刷製本費	9,009	9,000	4,500	9	告知チラシ代
使用料・賃借料	18,100	18,000	9,000	100	会場使用料
通信・運搬費	3,300	3,000	1,500	300	切手代
備品購入費	51,192	0	0	51,192	子ども用遊具(ロディ)、 絵本代
				0	
				0	
				0	
計	252,561	178,000	89,000	74,561	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	吉田お囃子会再興事業
事業主体の名称	吉田お囃子会
代表者の名称	高德 茂
事業主体の所在	下野市本吉田653-2
事業主体の概要	・団体の目的:地域の世代を超えた人々が参加することにより人々の交流が生まれ、地域の活性化を取り戻す ・設立年月日:令和4(2022)年7月1日 ・構成員等:吉田地区に居住する住民をおよび他の地区の住民のうち会長、副会長の承認を得たもの
当該事業に係る地域の現状と課題	少子高齢化の影響によりお囃子会のような地域のコミュニティが自然消滅してしまったり、新型コロナウイルス感染症の流行により地域のお祭りが中止されるなど、地域住民間の交流の機会が希薄化している。また、それにより地域の子どもたちの郷土愛をはぐくむ機会が消失している。
事業目的	自然消滅したお囃子会を再結成し、講師を招聘し練習する。地域イベント等に参加することにより、子どもたちの郷土愛や未来育成につなげる。また、地域の子どもたちによるお囃子会の活動を通して、地域全体を活気付ける。
事業概要	【令和7年度】 <活動期間>令和7年4月～令和8年3月 週1回程度(5月～9月)の練習の他、以下のイベントに参加することで活動の発表の場を確保し、子どもたちの郷土愛醸成また地域定着を図った。 ・7/20吉田保育園夏祭り参加(16名) ・10/26吉田村秋祭り参加(20名) ・11/29日新デイサービスにて演奏(16名) ・12/13吉田保育園クリスマス会参加(18名) ・1/11吉田コミュニティどんど焼き参加(18名) 【令和8年度以降】 地域活性化のため、継続的に活動を行っていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI:市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	週1回程度の練習 吉田村夏祭りへの参加 (8月) 吉田村まつりへの参加 (10月)	週1回程度の練習 吉田村夏祭りへの参加 (8月) 吉田村まつりへの参加 (10月) 日新デイサービスイ ベント参加(11月) 吉田コミュニティどん ど焼きへの参加(1月)	週1回の練習及び上記 のとおり年5回のイベ ントでの演奏を実施		週1回程度の練習 5回程度イベントへ参加 しての演奏実施
事業費	150,000	400,000	352,938	902,938	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	300,000	264,000	664,000	200,000
うち県交付金	50,000	150,000	132,000	332,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	50,000	100,000	88,938	238,938	200,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	吉田お囃子会再興事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	264,000	
会費・参加料等徴収	0	夏祭参加料
寄付金等	35,000	支援者寄付金等
事業収入	30,000	イベント参加謝礼
その他の収入	23,938	昨年度の残金・利子・赤字補填
計	352,938	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	130,000	130,000	65,000	0	講師
消耗品費	13,274	0	0	13,274	コピー用紙、インク、文房具等
印刷製本費	40,000	40,000	20,000	0	勧誘チラシ印刷
備品購入費	120,340	94,000	47,000	26,340	篠笛等
食材料費	48,224		0	48,224	イベント時弁当飲み物等
手数料	1,100	0	0	1,100	振込手数料
				0	
				0	
				0	
				0	
計	352,938	264,000	132,000	88,938	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	サスティナブルデザインプロジェクト～農業＋αの複合イベント～事業
事業主体の名称	雑穀クラブ
代表者の名称	渡辺 佳道
事業主体の所在	下野市下古山1453
事業主体の概要	・団体の目的:農と食とアートの共通性を体験できるイベントを開催し、農業の新たな価値を創造する。 ・設立年月日:平成26(2014)年4月 ・構成員等:趣旨に賛同する個人5名
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 ・農業従事者が年々減少している中、地域の子どもたちに農業への関心を持ってもらうため、農業に関するイベントや体験の場を設ける必要がある。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 子育て世代の親子を対象として、農業と食、アート、スポーツを融合したイベントを実施することで、農業への新たな価値観を創造し、将来的な農業の発展、人材の育成に寄与することを目的とする。
事業概要	【令和7年度】 ＜活動期間＞令和7年4月～9月 ・7/27下野渡辺農園を会場として、農・食・アートの複合イベントを実施 ・【内容】①田んぼでラグビー体験、②野外で青空音楽会、③フラダンス体験会 ・約200名の親子が参加し、農業についても知ってもらう機会となった。 【令和8年度以降】 より充実した内容にするために工夫しながら、継続的に開催していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI:市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和7年度	令和 年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・7/27下野渡辺農園を 会場として、農・食・ア ートの複合イベントを実施				農業＋αの複合イベ ントの実施
事業費	551,621			551,621	450,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000			300,000	225,000
うち県交付金	150,000			150,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	251,621	0	0	251,621	225,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	サスティナブルデザインプロジェクト～農業＋αの複合イベント～事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	300,000	
会費・参加料等徴収	39,000	イベント参加費
事業収入(物販等)	33,000	イベント時物販
その他の収入	4,500	出店者からの出店料
寄付金等	175,121	
計	551,621	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	207,607	140,000	70,000	67,607	出演者謝礼
消耗品費	12,504	10,000	5,000	2,504	文房具、ごみ袋等
食材料費	24,000	0	0	24,000	出演者用昼食、飲み物代
印刷製本費	102,249	100,000	50,000	2,249	チラシ作成、印刷
使用料及び賃借料	54,348	50,000	25,000	4,348	会場使用料
備品購入費	150,913	0	0	150,913	シャワー用備品、ステージ制作代等
				0	
				0	
				0	
				0	
計	551,621	300,000	150,000	251,621	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号ー5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	かんぴょうとふくべの魅力発信事業
事業主体の名称	Paprika
代表者の名称	平林美代子
事業主体の所在	下野市緑5-1-17
事業主体の概要	・団体の目的:下野市の特産物であるかんぴょうの素晴らしさを食と工芸品の両面から発信するとともに、子育てがひと段落した女性の活躍の場を創出する。 ・設立年月日:令和5(2023)年4月1日 ・構成員等:会の目的に賛同し活動できる者
当該事業に係る地域の現状と課題	本市はかんぴょうの生産量日本一であり、令和2年にはかんぴょうに関する食文化、伝統、産業を守り、市民の豊かで健康的な生活を実現するための「かんぴょう条例」を制定し、かんぴょうの消費拡大、産業振興を推進している。
事業目的	かんぴょうを利用した食育を行ったり夕顔の実を乾燥したふくべを活用しかんぴょうの広報活動を行うことで下野の特産品として広く発信すると同時に、子育てがひと段落した女性の活躍の場を創出する。
事業概要	【令和7年度】 ＜活動期間＞令和7年4月～令和8年3月 ・中学校2校、小学校4校でのふくべふるさと学習の指導補助を実施 ・「第12回うま味調味料活用！郷土料理コンテスト」にかんぴょう料理で出品、かんぴょうの活用レシピを広めた。 ・下記イベントにかんぴょう料理で出店、計2000名以上に振舞い、かんぴょうの魅力を発信した。 ・7月田んぼでラグビーイベント、9月オクトーバーフェストしもつけ、10月しもぶらフェスタ、11月下野市産業祭、12月大谷クリスマスマーケット ・下野市かんぴょう祭りやしもつけ燈籠会等でのふくべアクセサリ等の展示を実施 【令和8年度以降】 他のかんぴょう関連団体と協力しながらワークショップ等を行い、かんぴょうの魅力発信を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI:市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和6年度	令和7年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	マルシェイベントへの出店	・市内学校でのふくべふるさと学習の補助 ・郷土料理コンテストへの出品 ・6つのイベントでのかんぴょう料理の販売 ・ふくべアクセサリの作成・展示			マルシェイベントへの出店 市内小中学校でのふくべ細工授業の補助 市内イベントへの参加
事業費	135,000	579,254		714,254	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	300,000		400,000	200,000
うち県交付金	50,000	150,000		200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	35,000	279,254	0	314,254	200,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	かんぴょうとふくべの魅力発信事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	300,000	
会費・参加料	0	
事業収入(物販等)	338,600	イベント出店時売上
計	638,600	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	136,400	136,000	68,000	400	イベント出店時アルバイト代、イベント時講師謝礼
旅費・交通費	44,196	0	0	44,196	アルバイト交通費
消耗品費	79,710	79,000	39,500	710	出店時容器、袋等
食材料費	195,944	0	0	195,944	かんぴょう、調味料、肉等出店時材料費
印刷製本費	1,620	1,000	500	620	チラシ印刷
使用料及び賃借料	67,110	67,000	33,500	110	出店費・調理室利用料
燃料費	3,976	3,000	1,500	976	ガス代
備品購入費	50,298	14,000	7,000	36,298	台車・クーラーボックス、お茶代等
				0	
				0	
				0	
				0	
計	579,254	300,000	150,000	279,254	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	しもつけちょこっとカレッジ事業
事業主体の名称	ちょこカレ事業部
代表者の名称	高橋 裕美
事業主体の所在	下野市小金井2-17-15
事業主体の概要	・団体の目的:子育て世代への学びや交流の場の提供。 ・設立年月日:令和6(2024)年5月 ・構成員等:趣旨に賛同する個人6名
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 市としても子育て世代への支援には力を入れており、人口増加のために子育て世代を呼び込むことは非常に重要である。 子育て世代からよりばれる市になるためにも、民間のイベントや取り組みも有用である。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 子育て世代を対象とした学びの場や交流の場を設けることで、子育て中の方の孤立化を防ぎ、地域のネットワークづくりに寄与する。
事業概要	【令和7年度】 ＜実施時期＞令和7年4月～令和8年1月 ・市内在住の親子を対象に実費金額のみで参加可能な下記カルチャー教室を実施、各10名程度参加 ・5/27ミニ食パンを焼こう、6/30バランスボールダンス、10/30相続セミナー、12/2味噌づくり ・7/21友愛館にて夏祭りイベントを実施(アイドルショー、ものづくり体験会、キッチンカーの出店) 【令和8年度以降】 事業内容を修正しながら、継続的に事業を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和7年度	令和 年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・市内在住の親子を対象に実費金額のみで参加可能なカルチャー教室を実施				・各種講座、体験イベントの開催 ・夏休みスペシャルパーティーの開催
事業費	154,480			154,480	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000			100,000	75,000
うち県交付金	50,000			50,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	54,480	0	0	54,480	75,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけちょこっとカレッジ！	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	100,000	
会費・参加料等徴収	77,700	出店料・受講料徴収
事業収入(物販等)	10,300	ワークショップ売上
その他の収入	0	
計	188,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	85,000	60,000	30,000	25,000	イベント講師謝礼、音響・イベント 時出店手配
消耗品費	32,505	28,000	14,000	4,505	工作材料
食材料費	20,985	0	0	20,985	お茶会用飲み物・講座材料費
印刷製本費	2,890	2,000	1,000	890	ポスター印刷
使用料及び賃借料	13,100	10,000	5,000	3,100	会場使用料
計	154,480	100,000	50,000	54,480	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	夏祭りShimotsuke～つながる未来～事業
事業主体の名称	夏祭りShimotsuke実行委員会
代表者の名称	香川 徹
事業主体の所在	下野市祇園5-8-1
事業主体の概要	・団体の目的:楽しく誰でも参加できる地域ぐるみの風物的イベントの実施、 ・設立年月日:令和6(2024)年1月11日 ・構成員等:趣旨に賛同する個人6名
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 下野市は3町が合併して誕生し間もなく20周年を迎えるが、行事等の開催状況については未だに旧3町のなごりが強く残っている。市全体の一体感を深めるため、市役所前広場を会場とし、広く下野市民を対象とするイベントは非常に有用である。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 楽しく誰もが参加できる風物詩となるイベントを開催することで、市内全体のコミュニケーションを深める。
事業概要	当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載、 集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類型を記載 【令和7年度】 <活動期間>令和7年4月～令和8年3月 ・8/3(日) 夏祭りShimotsuke開催(地域の店舗出店、花火打ち上げ、屋外ステージでの地域団体の発表、U字工事スペシャルライブ) ・3000名を超える地域住民が参加し、大きな賑わいと地域交流を生み、地域住民からの反響が大きかった。 ・開催に伴う各種調整・準備活動(協賛企業打診、出展者・出演団体募集、消防や警察棟との調整、会場準備等) 【令和8年度以降】 ・子どもたちがより楽しめるイベントを充実させ、継続的に開催していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和7年度	令和 年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・8/3(日) 夏祭り Shimotsuke開催(地域の店舗出店、花火打ち上げ、屋外ステージでの地域団体の発表、U字工事スペシャルライブ)				8/3(日) 夏祭り Shimotsuke開催(地域の店舗出店、ステージイベント、花火打ち上げ等を予定) ・開催に伴う各種調整・準備活動(協賛企業打診、出展者・出演団体募集、消防や警察棟との調整、会場準備等)
事業費	4,139,877			4,139,877	4,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000			100,000	30,000
うち県交付金	50,000			50,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,039,877	0	0	4,039,877	4,170,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	夏祭りShimotsuke事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	100,000	
事業収入(物販等)	435,000	出店料徴収
寄付金等	3,690,000	協賛金
その他の収入	0	
計	4,225,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
人件費	0	0	0	0	
報償費	723,880	20,000	10,000	703,880	音響・司会進行・スペシャルゲスト 出演料
旅費・交通費	0	0	0	0	
消耗品費	4,450	0	0	4,450	封筒他
食材料費	1,537	0	0	1,537	ゲスト飲み物代他
印刷製本費	0	0	0	0	
使用料及び賃借料	1,268,870	80,000	40,000	1,188,870	会場使用料、会場設営費、ミスト扇 風機等
通信・運搬費	5,170	0	0	5,170	お礼状切手
保険料	33,670	0	0	33,670	おまつり保険
その他の経費	2,102,300	0	0	2,102,300	花火、収入印紙代
計	4,139,877	100,000	50,000	4,039,877	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	第4回「吉田村の夏祭」事業
事業主体の名称	吉田村の夏祭実行委員会
代表者の名称	伊澤 敦彦
事業主体の所在	下野市本吉田784
事業主体の概要	・団体の目的:閉校した吉田地区の小学校をコミュニティ推進の場として利活用し、地域の夏祭りを復活させ、交流を通じて郷土愛の醸成と地域の活性化を図る。 ・設立年月日:2022年6月1日 ・構成員等:委員会の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	吉田地区では義務教育学校への統合に伴い令和4年3月に吉田東小学校及び吉田西小学校の2校が閉校を迎え、地域コミュニティの核でもあった吉田地区内の学校は無くなった。今後、吉田地区の活性化には地域コミュニティの中心となる場が望まれる。
事業目的	閉校した吉田地区の小学校を活用し、衰退した地域の夏祭りイベントを復活させることにより、少子高齢化等により失われつつある地域の伝統や文化と希薄化するコミュニティの再興を図る。また、市外から祭りに訪れる人達との交流により行事の活性化やアグリツーリズムを推進する吉田地区の魅力発信により関係人口増を図る。
事業概要	【令和7年度】 ＜活動期間＞令和7年4月～令和8年1月（準備等の調整期間を含む） ・10/26(日)旧吉田東小学校にて秋祭りを開催 ・地域事業者の出店や、カラオケ大会、盆踊りを実施 ・市の健康増進課と協力し、健康測定等の健康促進PRを併せて実施した 【令和8年度以降】 地域の夏祭りとして継続的に開催していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI:市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	計画書作成 実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷 夏祭り開催	計画書作成 実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷 夏祭り開催	・10/26(日)旧吉田東小 学校にて秋祭りを開催		計画書作成 実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷 夏祭り開催
事業費	415,000	775,000	1,143,395	2,333,395	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	115,000	475,000	843,395	1,433,395	500,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第4回「吉田村の夏祭」事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	300,000	
会費・参加料等徴収	63,000	出店料
寄付金等	915,000	イベント協賛金
その他の収入	68,078	前年度繰越金、預金利息、お祝い金
計	1,346,078	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	271,000	120,000	60,000	151,000	警備外注、運営人件費、イベント出演者謝礼
印刷製本費	19,380	9,000	4,500	10,380	ポスター、チラシ印刷
使用料及び賃借料	153,150	100,000	50,000	53,150	会場設営レンタル品
燃料費	0	0	0	0	発電機燃料費
保険料	10,480	3,000	1,500	7,480	イベント保険
備品購入費	59,380	50,000	25,000	9,380	樹脂テーブルセット他
その他の経費	581,700	0	0	581,700	電気配線工事・花火代
消耗品費	48,305	18,000	9,000	30,305	コピー代、事務用品費
繰越金	202,683		0	202,683	
				0	
計	1,346,078	300,000	150,000	1,046,078	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	高校生もしもプロジェクト事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人青ニオ
代表者の名称	鈴木 祐磨
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋779-1
事業主体の概要	・団体の目的:若者の活動支援、地域コミュニティの運営 等 ・設立年月日:令和5(2023)年1月11日 ・構成員等:法人の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	高校・大学卒業後に進学や就職のため市を離れる若者が多く、若者のUターンを促進する必要がある。
事業目的	高校生主導のイベントを実施することで、高校生自身の自己肯定感を高めるとともに、地元への愛着をはぐくむ。また、市内で活動する若者を増やすことによりまちの活性化を図る。
事業概要	【令和7年度】 ＜活動期間＞令和7年4月～令和8年3月 大学生や高校生を対象に以下の事業を実施した ・月1～2回、石橋駅前の空き店舗を借りて居場所づくりのためのカフェを出店(年間19回実施) ・カフェを利用した学生を中心に、地域イベントに計9回の参加・出店を実施(サマーフェスティバル石橋出店、下古山地区お神輿の担ぎ手、下野市産業祭出店、薬師寺歴史館梅まつり出店、オクトーバーフェストしもつけ出店等) 【令和8年度以降】 街中カフェを継続運営し、郷土愛醸成や若者のUターンを促す。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施 (高校生ラジオ等)	高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施	大学生・高校生を対象としたカフェの運営及び学生を巻き込み地域イベントへ参加		高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施
事業費	50,000	450,300	350,035	850,335	250,000
市町支出金 (ソフト事業分)	50,000	300,000	187,000	537,000	125,000
うち県交付金	20,800	150,000	93,500	264,300	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	150,300	163,035	313,335	125,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生もしもプロジェクト事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	187,000	
事業収入	296,200	カフェ出店及びイベント出店売上
計	483,200	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
旅費・交通費	22,880	20,000	10,000	2,880	ボランティア交通費
消耗品費	133,546	100,000	50,000	33,546	出店用消耗品等
食材料費	110,739	0	0	110,739	出店用原材料
使用料及び賃借料	3,410	3,000	1,500	410	発電機レンタル代
備品購入費	24,300	20,000	10,000	4,300	消火器・ケトル等
印刷製本費	2,760	2,000	1,000	760	チラシ代
燃料費	400	0	0	400	発電機燃料代
報償費	45,000	42,000	21,000	3,000	出店協力者人件費
その他の経費	7,000	0	0	7,000	腸内細菌検査費
繰越金	133,165			133,165	
計	483,200	187,000	93,500	296,200	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	茶道体験呈茶事業
事業主体の名称	茶 to 心
代表者の名称	幸田 千恵
事業主体の所在	下野市下古山1502-70
事業主体の概要	・団体の目的:高齢者や子ども等が広く気軽に参加できる茶道の場を提供し、日本文化やお茶の心を伝え残していく。 ・設立年月日:令和7年1月1日 ・構成員等:趣旨に賛同する個人8名
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 公民館において、広く市民が参加できる公民館講座を実施するなど、市民の文化活動への参加推進を行っている。普段公民館を利用しない方向けに、高齢者施設や教育・保育施設等へ出張して行う文化体験活動は非常に重要であると認識している。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 :高齢者や子ども等が広く気軽に参加できる茶道の場を提供し、日本文化やお茶の心を伝え残していく。
事業概要	当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載、 集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類型を記載 【令和7年度】 <活動期間>令和7年4月～令和8年3月 ・下記のとおり高齢者や子ども、親子を対象としたお茶会を開催、計100名以上参加 ・4/14春の茶会、11/1秋の茶会、12/2クリスマス茶会、2/15石橋公民館まつり内での茶会開催 【令和8年度以降】 在日外国人や市への国外からの来賓を対象に含め、事業拡大を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和7年度	令和 年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	年4回高齢者や子ども、親子を対象としたお茶会を開催				年に5～10回程度、高齢者や子ども、親子、在日外国人、国外からの来賓等を対象としたお茶会の開催
事業費	164,980			164,980	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000			100,000	75,000
うち県交付金	50,000			50,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	64,980	0	0	64,980	75,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	茶道体験 呈茶事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	100,000	
会費・参加料等徴収	24,000	お茶会参加費
寄付金等	45,240	赤字補填
計	169,240	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	32,510	32,510	16,255	0	協力者謝礼
消耗品費	52,523	52,523	26,262	0	かえし、茶巾等
食糧費	74,667	9,687	4,844	64,980	和菓子・抹茶代
備品購入費	5,280	5,280	2,640	0	茶碗
繰越金	4,260				
計	169,240	100,000	50,000	64,980	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	下野市
事 業 名	ドイツ姉妹都市締結50周年記念事業 グリムの森イルミネーション
事業主体の名称	下野市ウインター活性化推進協議会
代表者の名称	代表 有野 一夫
事業主体の所在	下野市下古山747 グリムの里いしばし内
事業主体の概要	・団体の目的:グリムの森をイルミネーションで飾り付け、冬場の地域活性化を図る。 ・設立年月日:平成21年10月1日 ・構成員等:下野市ウインター活性化推進協議会役員(11名)
当該事業に係る地域の現状と課題	毎年開催している「グリムの森イルミネーション」について、毎年市外からも多くの来場者が訪れる、本市における冬のメインイベントとなっているが、運営メンバーの高齢化による事業継続性や、リピーターの獲得に向けた実施方法について課題を抱えている。
事業目的	観光資源が乏しい本市において、冬の時期のまちなかの賑わいと経済の活性化を目的に、市外からの来場者増を目指すほか、本事業の将来的な継続実施に向けた取り組みをすすめる。令和7年度～8年度にかけては、姉妹都市締結50周年および市制施行20周年の記念事業を実施し、
事業概要	当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載、 集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類型を記載 グリムの森イルミネーションの実施【関係人口の分類Ⅰ-d(参加・交流型)】 【令和7年度】 グリムの森イルミネーションについて、ドイツのディーツヘルツタル市との姉妹都市締結50周年を記念した内容で実施することで、より多くの来場者を見込む。 準備期間:令和7年9月6日～11月22日 点灯期間:令和7年11月23日(日)～令和8年1月3日(土) 会場:グリムの森グリムの里いしばし 【令和8年度】 継続実施の検討を行い、来場者増加につながるよう工夫し、開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和7年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・グリムの森イルミネーションの実施				
事業費	14,243,674			14,243,674	1,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000	1,500,000
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	13,743,674	0	0	13,743,674	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ドイツ姉妹都市締結50周年記念事業 グリムの森イルミネーション	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
前年度繰越金	3,507,315	
協賛金	3,174,826	個人・団体からの協賛金 維持協力金含む
事業収益	5,916,620	模擬店等による収益
事業費より支出	1,000,000	自主財源
補助金	600,000	下野市観光協会100,000円 姉妹都市締結50周年記念補助金500,000円
雑入	44,913	利子、会議参加費
計	14,243,674	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
事務費(通信運搬費外)	390,963	0	0	390,963	はがき、傷害保険、その他
使用料	21,577	0	0	21,577	会場使用料
委託費	4,331,328	0	0	4,331,328	ポスター、デザイン企画料、模擬店費用
事業費(通信運搬費外)	1,023,688	0	0	1,023,688	協賛者への粗品、イベント他
備品費	4,105,762	500,000	250,000	3,605,762	イベント機材購入費
報償費	806,744	0	0	806,744	ボランティア食事、イベント他
雑費	67,973	0	0	67,973	慶弔費等
事業積み立て	1,000,000	0	0	1,000,000	記念事業積立金戻し分
次年度繰越金	2,495,639	0	0	2,495,639	
				0	
計	14,243,674	500,000	250,000	13,743,674	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号ー5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合